

あまでつすです

岐阜県博物館で、昭和二十年（一九四五年）から昭和三十五年（一九六〇年）に掛けて、関市で製造された日本時計（株）のゼンマイ式柱時計百点を集めた『NIPPON CLOCK展』を趣味のスキルアップを兼ねて見て来ました。二針（長針・短針）で八日巻のみならず、中三針（秒針・長針・短針）八日巻や三十日巻柱時計などが、年代順に解り易く展示されていて見る側もその足取りがよく理解出来る様になっていました。また、機械部分や

使用されているゼンマイ巻き力ギなども展示され柱時計の構造なども識る事が出来る。珍しかったのは、昭和三十三年に発売されたゼンマイ二個を使用し、一個目のゼンマイが戻り終えたら自動的に、二個目のゼンマイに連動して動き、一回ゼンマイを巻き上げれば、三十日から四十日動き続けると云う時計もあった。こうして様な形の柱時計を見て廻ると、以前腕時計に限らず、置時計や柱時計を修理していた頃を懐かしく思い出します。時計の修理は最初柱時計か

ら始めた。分解、洗浄、組立て、注油をして機械を完成させる。そして木枠の掃除をして機械を中に取り付けて調整をして凡てが完成する。家に昭和初期に製造された、文字板がローマ数字（ちなみに今回の日本時計の展示品凡てがアラビア数字であった）の八角の柱時計が台所に掛けてあり、一度二十年前に自分で分解掃除をした切りだが、現在も正確に時を刻み正時になると時を打つ。八日巻である為、一週間に一度はゼンマイを巻くのが習慣になっている。ま

たこの頃の鳴金は鉄製で渦巻き状になっていて、鳴金を撞木が打つ音は、如何にも郷愁を感じさせる響きがある。昔には『時の格言』と云うのがあった。今で云う午前零時から午後十時迄を二時間置きに十二支を当て、午前零時（子の刻）、「遅れるな何時も早めに」。午前二時（牛の刻）、「上の掟と時守れ」。午前四時（寅の刻）、「遅れて人を困らすな」。午前十時（巳の刻）、「義理と時間は守らにやならぬ」。午後零時（午の刻）、「時は金なり」。午後二

時（未の刻）、「時間を守らぬ人は自分も他人も損害なり」。午後六時（酉の刻）、「鶏は時を作り人は時を知る」。午後八時（戌の刻）、「犬は家を守り人は時間を守る」。と云った格言だが、これが時の尊重と云う重要な役割を成していたのだらう。手前味噌になるが、時計修理をしていた頃、遊び心で自分だけのオリジナル時計をデザインし、作った事がある。文字板に通常切手や写真を貼り付けて作った腕時計、風景印を和紙に押し印して作った懐中時計、SPレコー

ドで作った柱時計などを郵趣関係の雑誌に載せてもらった事もある。人は郷愁の時間に生きて居る。その深さに感銘した手応えのあるクロック展であった。タイムング良く、只今「写真展」を風地蔵さんで開催させて頂いているので、それらを見る事ができます。

押し入れ

しょうぎのおぢさん

私の子供のころは、地震・雷・火事・おやじ、が怖いものの順番だった。おそろく自分の母親も、自分のところの家では、一番がいたずらをした時には、押し入れに入れられていたからだと恐いものに、押し入れ・その後入れに入れられていたからだとの順番に地震・雷・火事だった。思います。

おやじはおとなしくて、やさしくて、ちよつとも恐いイメージがなくて、母親も同じで恐いと思つた事がない。

九州の空より

お弁当の配達をしていても、庭の木々は気になる一つ。そんなどれもが、だいたい風地蔵に植えてあるのだから、なんてセンスがいいんだらうって、思つのです。いまこちわの梅雨時は、風地蔵では少し早いから、美容室や小さなカフェの軒下から、ノウゼンカヅラがオレンジ色に垂れ下がり、花を落としています。地面にこぼれた花がまた実に美しい。これが土なら写真も撮りたくなるが、アスファルトだから面白くない。四季折々の花々

誕生日プレゼント

大橋 美紀

6月2日に私の祖母が95歳の誕生日を迎えました。私は2日に着くように絵手紙を書き、家族一人一人が祖母へのメッセージを一言添え、送りました。2日に届いたと祖母からお礼が入りました。すごく喜んでくれました。

95歳という事で、実家の方は表彰があり、6日に町長さんが家にお祝いに来られるというので、主人と2人で実家に行つたのです。祖母には5人の子供がいて、

娘が3人、息子が2人。しかし私の父もそしてもう1人の息子（父の兄）亡くなつてしまい、娘が3人です。もちろんこの日におばあちゃん達もお祝いに来ていました。賑やかに町長さんの到着を皆で待ちました。約束の間きつちりに町長さんが来られ、祖母にお祝い分を読まれ、お花と大きな箱に入ったプレゼントを渡し、写真撮影。私達も入り、笑顔いっぱい撮影となりました。その後、祖母へのインタビューです。家族の大切さ、息子が先に逝つてしまった寂しさ、そしてもう

すぐ玄孫が生まれる喜び、人生95年の歴史を町長さんに話す祖母を見ていて、皆が幸せな気持ちになりました。祖母は今も畑の仕事を無理をしない程度に楽しんで、そしてお花を育てるのも大好きです。それでもって頭もすっかりしているし、耳も良く聴こえ、自分の事は自分で出来ま

も終わりました。このインタビュー内容と写真は広報に載るそうです。日にちは変わって、祖母の誕生日プレゼントとして、うすずみ温泉にと祖母と母と3人で行ったのです。ちょうど3月に薄墨で陶芸をし、その器が出来上がったという事で、取りにも行きたかったのです。うすずみ温泉にしました。朝9時に実家に迎えに行きました。1時間30分の道のりです。途中で道で休憩し、温泉に着。フロントの方が「11時20分頃団体さんが来られますので、今ならゆっく

り入れますよ」と言われ、3人で貸し切り一番風呂に入りました。岩風呂、ジャグジー風呂、露天風呂に檜のお風呂と全部のお風呂をゆっくり1時間30分かけて楽しみました。ロビーには、コインを入れるマッサージ機があり、足のマッサージを200円で20分間、リンゴ酢を飲みながらおしゃべりしながら楽しみました。祖母が、「今日本日はどうしようか迷っていたんだけど、」

「美紀とお母さんが一緒だから安心していけると思いなおしたんだけど」、「もうこれが最後かもしれないし、連れてきてくれてありがとう」と言う。私はそんな寂しいこと言わないでと心の中で思い、「うん」と首を縦に振ることしかできませんでした。その後3人で食事をし、温泉を後にして、道の駅でお土産の買い物を楽しみました。私も子育てが一段落して、こうして色々出かけられるようになったのに、祖母の言葉が私の中に残っています。最後にはしません。一緒に居れる時間を少しでも多くつくり、近くでもいいから祖母と母を連れて、おしゃべりを楽しみ笑顔いっぱい出かけ、やつと私が出る親孝行、おばあちゃん孝行なんです。



第105号 発行 編集 風地蔵 白石 美帆 〒503-0922 岐阜県大垣市馬場町85

ヤフーブログ 毎日更新中 炎の女みほ日記 http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230

大垣を知る旅

原 由里子

朝はいつも、朝礼があります。けど最近、社長がお弁当の配達の仕事を始めました。前は朝9時までに出勤でもよかったので、短いながらも朝礼がありました。最近は一社辞めたらしく、朝7時30分までに行かないといけないと、お弁当屋さんの仕事が出来ないの朝礼です。まだ社長と朝礼をしていて、私が「休みだったんで、タイムトラベルしてきました。」と、前の新聞に書きました。大垣城とむすびの地記念館の話を書きました。

木枡ではなく、木で出来た将棋の駒を大きく、薄くして紐がついている手形でした。ある日の観光協会の総会で、風地蔵の社長こと、旧・田中美帆（現・白石美帆）が、「水が美味しい所だから、造り酒屋さんもぶらりウォークに加盟するように呼び掛けてみては？」

手形も、大垣は枡で有名なことから、利き酒ができるように枡にしたらいいのでは？」という発言から、ぶらりウォークの通行手形は枡になり、造り酒屋さんも3軒加盟している現状となりました。手形を買いに行くのはいいけど、観光協会の人にも顔がばれているし、なんと

なく嫌。「あつそうだ！変装をしよう！」と思い、いつも髪を結んでいるので、髪をおろしてメガネをして買いに行きました。原「すいません。ぶらりウォークの枡下さい。」協「手形です。」と、ぶらりウォークのパンフレットとフリーペーパーの水都旅（すいとりつ

道の沿線まで行きました。大垣工業高校を過ぎて、梨畑の中に線路を見つけ、線路沿いに南に進んでいきました。「友江の駅は、どこだー！」と心の中で叫びながら探していると、駅を見つめる前に「輪中館」と書かれた道表示を見つけた。その表示された看板を右折して少し進んだ所に輪中館がありました。

の人形があり、ポタンを押すとガイドンが流れました。あとは、輪中の成り立ちなどを紹介した農機具や、輪中のジオラマ、洪水から家屋を守る様々な知恵を一部再現していたり、ジオラマを使つて、田植えの時期の様子などをナレーションで教えてくれます。その後、輪中の成立、発展していき近代化と紹介していきます。

「説明が続く」（うん！バレているな！）と思いつつ、しらを切り、一通り説明を聞いてそこを後にしました。枡を持つてまず向かったのが、大垣市守屋多々志美術館です。

次に向かったのは大垣市郷土館です。前に、郷土館に行こうと思つたら、火曜日は休みで、入る事が出来なかったのやと入れます。守屋美術館からそんなに遠い場所でもないの、自転車は置いて、歩きました。大垣城を横切り、大垣公園の横を通つて郷土館に到着です。郷土館は元々、戸田銳之助邸（大垣のお殿様と関係のある方だと思つて）だそう、大垣市指定重要文化財だそうです。

立派な門をくぐる、目の前に広くて素敵なお庭があり、門を入つて右手に行くと、郷土館の入り口があります。中に入り、右側に受付があり、通行手形の枡を渡して家のスタンプを押ししてもらい、中に入りました。4月19日～7月1日までの期間は、扇面に描かれた芭蕉と船町の絵が展示されています。

二階もあるのではと、小藪那音子さんと、小藪那音子さんの藍。柿洪で染めた日傘の染展をやつていて、20本以上展示してあつたと思つています。そこに小藪那音子さん本人らしい方とお知り合いであろうご夫婦がみえて会話が盛り上がつていました。

昨年、風地蔵で古布や柿洪染めを使つた服や鞆の展示販売をさせて頂いた、三輪典子先生と小藪那音子さんと知り合ひだした後から知りました。作品を見て、少し説明を聞いて、その場を後にして建物から出ました。少し庭を見て、きれいに咲いていたサツキを見てから、その場を後にしました。

展示の入り口は、まず輪中のプロローグとして白黒の大きな航空写真が貼つてあります。そこを通り進むと舟に乗つて、田んぼの中で魚を捕る男性

朝礼の後に店長が、「息子が小学校の時付き添いで輪中館という所に行った事があるよ。」

入口をはいって、右側に受付があり、手形にうちわのスタンプを押ししてもらい、中に入りました。4月19日～7月1日までの期間は、扇面に描かれた芭蕉と船町の絵が展示されています。

立派な門をくぐる、目の前に広くて素敵なお庭があり、門を入つて右手に行くと、郷土館の入り口があります。中に入り、右側に受付があり、通行手形の枡を渡して家のスタンプを押ししてもらい、中に入りました。4月19日～7月1日までの期間は、扇面に描かれた芭蕉と船町の絵が展示されています。

二階もあるのではと、小藪那音子さんと、小藪那音子さんの藍。柿洪で染めた日傘の染展をやつていて、20本以上展示してあつたと思つています。そこに小藪那音子さん本人らしい方とお知り合いであろうご夫婦がみえて会話が盛り上がつていました。

昨年、風地蔵で古布や柿洪染めを使つた服や鞆の展示販売をさせて頂いた、三輪典子先生と小藪那音子さんと知り合ひだした後から知りました。作品を見て、少し説明を聞いて、その場を後にして建物から出ました。少し庭を見て、きれいに咲いていたサツキを見てから、その場を後にしました。

展示の入り口は、まず輪中のプロローグとして白黒の大きな航空写真が貼つてあります。そこを通り進むと舟に乗つて、田んぼの中で魚を捕る男性

大垣は昔、川の氾濫がよく洪水になった為、輪中を作つた歴史資料館があると教えてもらいました。

大垣に生まれ育ちましたが、初めてそんな施設があると知りました。入場料が100円とか。よし、今度はタイムトラベルというが大垣を知る旅だな。

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

大垣を知る旅の日、大垣を知る旅に出かけました。最初に向かったのが、大垣市観光協会です。風地蔵はぶらりウォークに加盟してるお店なの、ぶらりウォークの通行手形の木枡を持ってないのなと思つて、買いに行きました。前は、通行手形も

ちよつと立ち話

原先生！大垣市観光大使に任命します！笑。

いやあ、大垣市さんこんな、我が住む町大垣を愛してくれ住人はありがたい事ですよね。あたしの暮らす新しい町には、太宰府市の「千梅ちゃん」というゆるキャラが活躍しています。ふるさと熊本はご存知、ゆるキャラグランプリの「くまもん」。となりの大野城には「大野ジョー」ってカッコいいキャラクターが御当地ナンバープレートになってま

す。通行手形から始まった、ふるさと探しが、おおきなふるさと自慢になりそうですね。

大橋さんのおばあちゃん95歳の日の話。今月号は、いの一に店長が送ってくれた作文を、失くしてしまつてすみません。さつき速達で届き、今打ち込みました。揺れながらも、息子をだまつて信じて見守る母の強さと同時に、店長の成長も感じながら、ほくほくしました。

(みほ)

いると、一人一人感動される、思う所が違つのがわかります。新聞を通じて体験してない事を味わえるのはいいですね。隆男さんも今、一足飛びに大きな女の子の父親になつて、戸惑う事も多いでしょうけど、大きな大きな喜びを手に入れて、感動されているのがとても伝わります。

(鎌澤)

風地蔵のスタッフの方、よく、毎月あんなに長い文章を書けますよね！

(あまでうずさん)

ツタンカーメンの記事、おもしろいよね

(笑)

呪われなかった？やり取りがおもしろいね。

(エステのお客さん)

新聞ありがとう。2〜3回店にも行った事があるよ。

(近所の男性)

社長が福岡に行くまでも大変(とつてもとつても)だったけど、行ったあともしばらくは電話で悩み相談。すごい日々です。本当に楽しみにしている時は、何か月も前からわくわくして、大橋さんの気持ちわかります。何も言つことないしっかり絆の出来た3人

家族です。心配ない。大丈夫。大丈夫。東京は修学旅行に行つたきり。明治村は15年前に行きました。

(原)

店長はいつも一生懸命すぎるくらいで、自分自身を追い込んでしまつたり、時には一人で抱え込みすぎるくらいいっぱいになつてあふれる寸前まで行くときがあるので、原先生と私は、いつもその思いをとことん店長から吐き出してもらうように思っています。

店長は人に感謝を忘れない、辛抱強い人です。

娘さん(りおんちゃん)

ん)の活躍に、父としての喜びと、感動を隆男さんはたくさん感じた事がすごく伝わってきます。

(大橋)

息子と久しぶりのデート

鎌澤 宣子

今回は、大橋さんのを読んでいて、私も息子の事を書こうと思います。

4月の半ば頃、仕事を終えて帰つてくるなり、夕飯の用意をしている私に向かつていきなり、ただいまも言わずに、「オレ、仕事辞める。違つ仕事見つける！」

「えっ？なんで？」

「きょう仕事でミスばかりして、上の人に“もういい加減にしてくれ！”と怒られた。あの会社は俺の性分あわん。」

「それだけ言つと、お風呂先に入つて

くる。」と言つて、なかなか出てきません。夕飯の準備が出来ても出てこなくて、お風呂から出てきて、夕飯を食べている時も、その事には触れずに違う会話。テレビを見ながら、その横顔を見ながら、お風呂で泣いていたんだと思ひました。

今の会社に入社して、今年で8年目になります。今までも色々あったと思いますが、初めて「辞めたい」と言つたので、私達もびっくりしました。夫とも、今はこちらからは聞か

い方がいいよね、心の整理がついたら話してくれるよね、と話しました。

大橋さんにも翌日相談をしたら、「大丈夫。店長の息子さんはしつかりしているし、息子さんから何かあつたら必ず話をしてくれませよ。」と、それで少しホッとしたのを覚えています。2週間くらい経つた頃、新聞で草道島の赤坂スポーツ公園の藤が見頃で、めずらしい藤棚があると書いてあり、息子と休みが一緒になつた日、買い物に行きたいからと、わざとそちらの方に行くようにして、連れ出しました。いつも休みの日は、パソコンか、

好きなアニメのDVDを見ながらマツクを食べるのが俺のストレス発散と言つていました。が、やっぱり自然に触れる事の方がいいと思ひます。案の定、スポーツ公園に着いたら、「きれい！きれい！」と言つて、私より先に携帯を取り出して写真を撮っていました。内心よかつた胸をなでおろしてました。久しぶりに息子の笑顔を見れて、私も同じよつにはしゃいで笑っていました。

帰り道、息子は宝くじを毎月買うのも楽しみにして、いつも連番10枚バラ10枚を決まった所で買って、別の場所でも連番を10枚買

ていますので、この日も買つていたので「当たらどうするの？」と聞いたら、「会社を辞めて大学に行きたい」と。今までは、家を建てるかと、旅行に行くとか言つてたんですが、「へ〜なんで？」と聞くと、「今やつてる仕事で、高校でやってきた事だけでは分からん事が多くなってきた。もっとスキルを積みたい。」と。それから、高校の時のお話をしてくれて、いつも友達とか先生に「英語の成績はあまり良くないのに、なんでパソコンの専門用語はすつと入つていくのかわからん」と言われていたそう

で、本人も「なぜか英語の文法はさっぱりわからんけど、専門的な事は覚えられ、わかるんだよね。」と。だけど今は、仕事の上で行き詰つてる。もつと自分には出来るはずなのにというジレンマがあつたんだと思ひました。

今、人生で初の壁にぶち当たつている息子に、「ガンバレ、今が踏ん張りどころ、自分の足で乗り越えて、成長してほしい。」と、心の中でエールを送りながら、息子の横顔を眺めていました。おわり

川風

しらいしみほ

生まれて初めて、針をしました。ぎっくり腰をしてしまったようです。

朝起きあがるのに30分かかります。筋肉が固まって

いるので、柔らかくなるまで、身動きがとれません。

それでも自然現象は止められず、朝のトイレまでが、痛みで悲鳴を上げるほど悲惨です。

目覚めて1時間もすれば、少し動けるようになるので、弁当を作り始めます。

立っている方が楽です。あの痛みと、息も出来なくなるので寝るのが怖い。

高山から帰って、夜中、あまりの痛さに救急病院へ連れて行ってもらったけど、診察もなんも無しで、ぎっくり

腰だと。薬を貰っただけ。痛み止めは効かず、体

全身も硬直しながらも、今2力

月過ぎた、弁当屋さんの仕事には行きます。

そこで、よく効く、盲目のおばあちゃん先生の針きゅう院を紹介してもらった

のです。藁にもすがる思いです。「明日からは、

起き上がれますよ」の言葉通り、起き上がれるようにはなり、痛

みの個所は狭まりましたが、まだ痛みは続きます。もう1度行

きたいと思っても、電話をしても、次の予約まで2週間もかかりま

す。名医ですね。働きだして、こ

こ2カ月、毎日書いていたブログも、なかなか

書ける状況ではないですが、毎週日曜日には、

ライターと、ドライブがてら下道で、温泉巡りをするのが楽しみになっていま

や、名古屋、京都、にまで映画を観に行きました

ただ、結婚してから3回行っただけです。文化にとっぷり

つかってた生活を、少し取り戻したくなって、

月1くらい之余裕は欲しいかなって。九州の温泉

の話をしましよう。源泉かけ流しで、家から1

5分の所の温泉、博多湯は300円。硫黄の匂い

もかすかにして、近場にもこんな

いい温泉があります。熊本の方

へ行けば、原先生と店長が来たとき一緒に

行った、平山温泉。先週、熊本市内

いホテルの海の見える棚湯にしようかと思

つて、あつた。ぎっくり腰の翌日だった

ので、初体験で有名な砂湯がある

ので、初体験でおかあさんと、30分眠

つてしまおうくらいに気持ち良かったです。

だーりんは、お風呂だけはいったので、

もつた。感じな。福岡の北へあ

ると、炭鉱の町、色んな映画の地盤

にもなってる、田川の町の柿

下温泉が、日本でも有数の高濃度のラ

庫、九州にはもつともつと無料、100円温泉

など良い温泉がいっぱいありそうです。

もうすぐ、1日。映画の日。次見

たいのは、スノウホワイトと、愛と誠かな。体

が本調子になつて、すつきりしたら、原先生

のよう、我が町探検もやってみ

たいです。

蜂との戦い

植木屋の天敵は蜂である。どのお庭にうかがっても大抵蜂の巣がひとつはかかっている。一番多いのはアシナガバチ。一番の恐怖はスズメバチ。何気なく手を突っ込むと「バチン」とやられることになるので、剪定をする前に一通りほうきなどで枝を叩き確認。一年間に何本の退治スプレー「ハチジェット」を使うのやら。自分はまず刺されない。過去2回くらいしか刺されたことがないが、若い衆たちは昨日一日にふたりともやられた。集中力が違う。かわいそうなのでウチは「ハチ刺され手当て」を出すことにした。刺されるともれなく3000円！こんな手当てはウチだけだろう。

庭師 奥田良樹